

目次

(13) 共用品推進機構関連記事

- ▽「共用品、原点は人のニーズ  
より多くの人が見えるモノ・サービス／星川安之」

(14) 製品関連記事

- ▽「加速・減速を自動設定 高齢者用補助カート／RT.ワークス」
- ▽「吸入器 使いやすく 杏林製薬、患者のミス防止」

(15) 新刊紹介

- ▽『自閉症のある子どもの関係発達  
「育てる一育てられる」という枠組みでの自己感の形成』
- ▽『視覚障害教育入門 改訂版』
- ▽『知的障害教育総論 新訂』
- ▽『障がい者雇用の教科書 人事が知るべき5つのステップ』
- ▽『越境する障害者 アフリカ熱帯林に暮らす障害者の民族誌』
- ▽『障がい児共生共育論』
- ▽『キーワード特別支援教育 インクルーシブ教育時代の障害児教育』

-----

(13) 共用品推進機構関連記事

- ▼「共用品、原点は人のニーズ  
より多くの人が見えるモノ・サービス／星川安之」

今まで、共用品は誰がどんな不便さを、その製品や機器に対してもっているかを確認する「不便さ調査」を中心に普及してきました。

しかし、これからは「不便さ」だけではなく「良かったこと」を、製品や機器にとりいれていくことが更に重要なことと思います。

そのために、人にはどんなニーズがあるのかを常に確認する心構えが必要だと思います。

ある美容院は十数年前に、店の前に煙草の自動販売機を設置しました。しかし、喫煙人口が減り、煙草そのものの需要が減り、その美容院では、煙草から飲料缶の自動販売機を設置しました。

夏は冷たい飲料が、そして冬には温かいコーヒーがたくさん売れていきます。冬の朝には、キャップを回す方式のコーヒー缶が、よく売れるとのこと。なぜ蓋がまたしめられる缶が売れるか不思議でならなかったのですが、遠くから購入する人を見ていると、その場で少し飲み、その後、残った温かいコーヒー缶をポケットに入れ、それをカイロ代わりにしていることが分かりました。

このコーヒー缶を、障害の有無にかかわらずより多くの人を使いやすい共用品の発想を加えると、「ポケットに入れやすい形状にするには？」など、違った発想が広がるかもしれません。

共用品も今までのように「不便さの発見と解決」だけではなく、更に便利！を、利用者と一緒に考える時期にきていると、この話を聞いて思った次第です。

(福祉介護テクノプラス 2015年3月号より抜粋)

---

#### (14) 製品関連記事

##### ▼「加速・減速を自動設定 高齢者用補助カート／RT.ワークス」

生活支援ロボット開発の RT.ワークスは7月、高齢者の歩行訓練を助ける電動補助カートを販売する。ハンドルを握って歩く四輪カートで、利用者の歩く速度によって加速と減速の度合いを自動で設定してくれる。複数のセンサーを活用し、坂道で助けるなど機能を充実させた。

「ロボットアシストウォーカーRT.1」を販売する。後輪が電動で、高齢者の歩行をアシストする。高齢者が押しながら歩き、歩行の訓練に使う。介護用品の取扱業者や病院に販売。百貨店の高齢者向け売り場などでも扱う。

14年度に実施された経済産業省のロボット介護機器の導入実証事業として、一部の介護施設に100台ほど導入された。同年秋までにいったん仕様を固めたが、さらに加減速の自動設定の機能を加え、歩行補助カートとして完成度を高めた。

(日経産業新聞 4月21日13面より抜粋)

▼「吸入器 使いやすく 杏林製薬、患者のミス防止」

杏林製薬は中高年喫煙者に多い慢性閉塞性肺疾患（COPD）の治療薬の吸入器を使いやすくデザインした。「エクリラジェヌア」の製造販売承認を厚生労働省から取得した。吸入ミスを防止するため、吸入しなければ次の薬が充填されない仕組みを取り入れたほか、吸入回数が数字でわかるようにして、吸い過ぎを防止するようにした。

COPDは長年喫煙を続けた人に多く、呼吸困難や慢性的なせきなどの症状が出る。治療には粉状の薬剤を吸入する方式が一般的だが、高齢患者が多いため吸い忘れや吸い過ぎの防止が課題だ。

新しい吸入器には小さな窓を設け、薬を吸い切ると窓の色が青から赤に変わるようにした。窓の色が赤にならなければ次の薬を充填できないため、1回で複数回分の薬を吸い込む危険をなくした。

(日経MJ 4月24日9面より抜粋)

---

(15) 新刊紹介

▼『自閉症のある子どもの関係発達

「育てる一育てられる」という枠組みでの自己感の形成』

自閉症のある子どもの自己感の形成過程を、先行研究にもとづきながら、障碍児学童保育での実践事例を手がかりにして解明。自閉症のある子どもが養育者や周囲の他者との関係を生き、どのように育っていったかを記す。

著：山崎徳子（やまさき・のりこ）

発行：ミネルヴァ書房

本体価格：4500円（税別）

ISBN：978-4-623-07274-3

▼『視覚障害教育入門 改訂版』

視覚障害児の学びの場とその対象範囲、視覚の成り立ちといった基本事項から、盲児・弱視児それぞれの指導の留意点、教科や自立活動の指導における

配慮事項までを解説。キーワード、自由記述式の復習問題、文献リストなども掲載。

編著：青柳まゆみ（あおやぎ・まゆみ）鳥山由子（とりやま・よしこ）

発行：ジアース教育新社

本体価格：1800 円（税別）

ISBN：978-4-86371-300-0

▼『知的障害教育総論 新訂』

知的障害教育の、今日的で、かつ基礎的な内容を学べるテキスト。知的障害特別支援学校等における教育について、その教育課程・指導法に関する内容に加え、知的障害等の心理的側面についても解説する。

編著：太田俊己（おおた・としき）藤原義博（ふじわら・よしひろ）

発行：放送大学教育振興会

本体価格：2400 円（税別）

ISBN：978-4-595-31535-0

▼『障がい者雇用の教科書 人事が知るべき 5つのステップ』

障がい者の就労支援や企業支援を手掛けてきた著者が、障がい者雇用に関する知識やノウハウを、障害者雇用促進法の実際の導入までの経緯を踏まえながら、わかりやすく解説する。雇われる側の障がい者に役立つ情報も満載。

著：二見武志（ふたみ・たけし）

発行：太陽出版

本体価格：1600 円（税別）

ISBN：978-4-88469-837-9

▼『越境する障害者 アフリカ熱帯林に暮らす障害者の民族誌』

アフリカ熱帯林のなかで身体障害を抱えて生活する人びとの営みを描写。カメルーンの熱帯林に暮らす障害者がいかに生活環境や社会的境界を横断しながら、日々の生活を確立しているのか、その様に焦点を当てる。

著：戸田美佳子（とだ・みかこ）

発行：明石書店

本体価格：4000 円（税別）

ISBN：978-4-7503-4176-7

▼ 『障がい児共生共育論』

理論と実践を相互に媒介しながら、理解と支援を求める”個人”としての障がいのある子どもを含む一人ひとりの子どもの人権を大切にしつつ、共生の視座から豊かな人間形成をめざす共育としての保育・教育について考察する。

著：曾和信一（そわ・しんいち） 杉本節子（すぎもと・せつこ）

発行：明石書店

本体価格：1800 円（税別）

ISBN：978-4-7503-4179-8

▼ 『キーワードブック 特別支援教育 インクルーシブ教育時代の障害児教育』

特別支援教育の問題点や論点を整理して、その方向性を指し示すテキスト。先進国のインクルーシブ教育、特別支援教育の学習指導要領と教育課程、いじめと障害などを取りあげ、1 項目 2 ページの見開きで解説する。

編：玉村公二彦（たまむら・くにひこ） 清水貞夫（しみず・さだお）

発行：クリエイツかもがわ

本体価格：2800 円（税別）

ISBN：978-4-86342-155-4

---

（編集後記）

今月から「機能性表示食品制度」がスタートしました。これは科学的根拠に基づく健康効果（成分）を持つ農水産物や加工食品などの食品に対して、各企業の判断で「機能性表示食品」に指定することができる制度です。消費者庁に科学的根拠などを提示して、機能性表示食品として販売する旨を届け出するだけで良いとのことで、科学的根拠の明確な基準はないようです。

共用品推進機構では、AD（アクセシブルデザイン）製品の認証制度での基準の作成を検討しておりますので、明確な基準がなくても制度がうまく機能するのか、気にかけております。（松岡 光一）

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>